

(別紙4(2))

事業所名 愛の家 グループホーム 筥松

作成日: 平成 30 年 2 月 1 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	定期的に施設全体で防災訓練を実施しているが、頻回に夜間を想定した避難訓練を実施する事で夜間体制(夜勤者2名)で、18名の利用者を全員安全に一時避難場所まで避難誘導できる体制を整えていく。	夜勤体制2名で冷静に自信をもって利用者全員18名を一時避難場所まで迅速に避難できる様に、火元を特定し、時間を計り訓練を繰り返して行う。また、運営推進会議時に行う事で、地域住民の参加を得て、地域との協力体制を築いていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的開催しているが、内容が画一化してきているため、新しい参加委員を募り、ホーム運営に反映できるよう、会議内容の活性化を図っていく。	参加委員として、有識者、知見者、薬剤師、複数の民生委員等の参加を募り、会議の活性化を図り、ミニ勉強会を採り入れる等、ホームの発展だけでなく、参加委員にとっても知識を深めたり、参加したくなる会議となるように取り組んでいく。	12ヶ月
3				,	ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。